

# 太陽研連シンポジウム「太陽研究の将来展望」

## ○日時

2018年 2月19日(月) 10:00 - 21日(水) 17:00 (予定)

+ 太陽研連総会: 2月20日(火) 17:00 - 18:00

+ 懇親会: 2月20日(火) 18:30 - 20:30

## ○場所

京都大学理学セミナーハウス

## ○開催趣旨

太陽研連シンポジウムは、国内外で推進されている太陽およびその関連研究について、最新科学成果のレビューに基づく科学討議、また太陽研究の将来についての討議を通じて、将来の研究方向性についての共通意見形成を図ることを主たる目的としています。加えて、本年度のシンポジウムでは、太陽物理周辺諸分野の研究進展をレビューすることで太陽物理学との関連、位置付けおよび将来展望を議論します。特に、「あらせ」など太陽系科学分野の動向や太陽型星スーパーフレア・太陽激甚災害について議論するセッションを予定しています。

### 【セッション】

- 観測所・プロジェクト報告
- 小型 EUVST ミッションと太陽研究の将来展望
- 太陽物理学の直近成果および周辺分野との連携

## ○プログラム

\*時間割は、変更の可能性があります。

\*時間は、質問・討論時間を含みます。講演者はその点十分に考慮してご準備ください。

### ●2月19日(月) 10:00-17:40

10:00- 開会あいさつ 一本潔

#### 【1. 観測所・プロジェクト報告(S1-I)】 <座長：浅井歩>

- |        |   |  |
|--------|---|--|
| 10:02- | <a href="#">飛驒天文台活動報告</a>                                 | 一本潔、他                                  |
|        | <a href="#">飛驒天文台 SMART 関係</a>                            | 石井貴子                                   |
| 10:30- | <a href="#">飛驒天文台 ドームレス太陽望遠鏡 2017 年度共同利用&amp;国際連携事業報告</a> | 上野悟                                    |
| 10:45- | <a href="#">飛驒補償光学系の開発状況と GLAO 実験</a>                     | 三浦則明、鈴木貴博、高橋進也                         |
| 11:00- | <a href="#">プラージュ域の加熱とジェット</a>                            | 北井礼三郎、坂上峻仁、上野悟、Mahboubeh Asgari-Targhi |
| 11:15- | <a href="#">太陽面分光装置の開発 (飛驒共同利用報告)</a>                     | 末松芳法、吉田正樹、上野悟                          |

11:30- [IUGONET データ解析システムを活用した太陽地球結合過程研究の現状](#)  
新堀淳樹、田中良昌、梅村宜生、阿部修司、能勢正仁、上野悟、大塚雄一、津川卓也、西岡未知

11:45- [PSTEP・名大共同利用](#) 草野完也

12:00- 昼食

【1. 観測所・プロジェクト報告(S1-I)・つづき】<座長：花岡庸一郎>

13:00- [2017年度 野辺山電波ヘリオグラフ運用報告](#) 増田智

13:15- [IPS 太陽風観測の現状と最近の研究成果について](#) 徳丸宗利

13:30- [第24太陽活動期における地上での太陽中性子の観測](#) 松原豊

13:45- [東北大太陽電波望遠鏡の運用状況](#) 三澤浩昭、土屋史紀、小原隆博、金田和鷹

14:00- [NICT 太陽電波観測の運用状況](#) 久保勇樹、西塚直人、塩田大幸、石橋弘光

14:15- [国立天文台三鷹太陽観測関連の報告](#) 花岡庸一郎

14:30- [国立天文台の太陽電波観測と太陽データ解析環境](#) 下条圭美

14:55- 休憩・ポスター

15:30- [太陽彩層観測ロケット実験 CLASP2](#) 久保雅仁、鹿野良平、石川遼子、ほか CLASP2 チーム

15:45- [SUNRISE-3 太陽観測実験: 近赤外線偏光分光装置 SCIP の進展](#)

勝川行雄, 原弘久, 久保雅仁, 清水敏文, C. Quintero Noda, 阿南徹, 石川真之介, 石川遼子,  
一本潔, 浦口史寛, 大場崇義, 鹿野良平, 川畑佑典, 末松芳法, 田村友範,  
都築俊宏, 永田伸一

【2. 太陽物理学の直近成果および周辺分野との連携(S3-I)】<座長：上野悟>

16:00- [太陽型星のスーパーフレア：ケプラーによる進展と将来](#) 前原裕之

16:25- [太陽型スーパーフレア星の分光観測](#) 野津湧太

16:40- [ベイズ推定を用いたスーパーフレア星のケプラーデータの解析](#) 幾田佳[PPTX]

16:55- [星震学](#) 関井 隆

17:20- [飛騨天文台 DST を用いた太陽中心～周縁スペクトルデータベースの構築と  
恒星分光解析への応用](#) 竹田洋一

18:00- 太陽研連運営委員会

●2月20日(火) 9:30-16:50

【2. 太陽物理学の直近成果および周辺分野との連携(S3-I)・つづき】<座長：永田伸一>

9:30- [磁気流体力学における因果律の正常化](#) 柴崎清登

9:45- [Studies on development of 3D MHD turbulence reconnection \(D\)](#) 王燦洋、横山央明

- 10:10- [電磁流体力学 \(MHD\) シミュレーションによる高速磁気リコネクションに関する研究](#)  
與那覇公泰
- 10:25- [太陽フレアに関する磁気ヘリシティの観測的研究](#) 長谷川 隆祥
- 10:40- [大型太陽フレアを生じる活動領域に関する観測・シミュレーション研究](#) 鳥海森
- 10:55- 休憩・ポスター

【3. 観測所・プロジェクト報告(S1-II)】 <座長：増田智>

- 11:15- [太陽観測衛星「ひので」：ミッション運用延長 III 期の 1 年目の観測状況](#)  
清水敏文、他「ひので」プロジェクト

【4. 太陽物理学の直近成果および周辺分野との連携(S3-II)】

- 11:35- [Hinode/SP で得られた太陽光球大気における 3 次元対流速度場\(D\)](#)  
大場崇義、飯田佑輔、清水敏文
- 12:00- [ALMA-Hinode-IRIS によるプラージュ領域の多波長同時観測](#) 阿部仁、清水敏文、下条圭美
- 12:15- [CLASP により観測されたスピキュールに沿う波動の伝搬](#)  
吉田正樹、末松芳法、石川遼子、岡本文典、久保雅仁、鹿野良平、成影典之、坂東貴政、  
A. Winebarger、K. Kobayashi、J. Trujillo Bueno、F. Auchere

- 12:30- 昼食・ポスター

【5. 小型 EUVST ミッションと太陽研究の将来展望(S2-I)】 <座長：原弘久>

- 13:30- [EUVST 提案に至った経緯](#) 一本潔、他
- 13:45- [SOLAR-C EUVST ミッション提案の概要および小型衛星の機能について](#)  
清水敏文、他 SOLAR-C WG
- 14:15- [EUVST で設定した科学課題](#) 今田晋亮、SolarC WG
- 14:45- [提案した EUVST 観測装置](#)  
川手朋子、清水敏文、今田晋亮、Luca Teriaca、Clarence M. Korendyke、EUVST 検討チーム

- 15:10- 休憩・ポスター

【EUVST で拓く科学課題】

- 15:30- [太陽大気の波動過熱に関して](#) 岡本文典
- 15:50- [太陽風加熱問題について - 波動加熱でもイオンサイクロトロン波加熱が中心の話題](#)  
松本琢磨
- 16:10- [EUVST でスピキュールの何が知りたいか](#) 飯島陽久
- 16:30- [EUVST で迫る活動領域・磁束浮上領域の物理過程](#) 鳥海森

- 17:00- 太陽研連総会  
18:30- 懇親会@京大生協北部食堂 2 階

●2月21日(水) 9:30-17:05

【6. 太陽物理学の直近成果および周辺分野との連携(S3-III)】 <座長：下条圭美>

- 9:30- [太陽電波バースト中のゼブラパターンおよび太陽コロナにおける物理過程の研究\(D\)](#)  
金田和鷹
- 9:55- [ジオスペース探査：あらせミッション](#) 三好由純
- 10:20- [Parker Solar Probe に向けた太陽風モデリング](#) 庄田宗人、横山央明
- 10:35- [宇宙天気予報のための太陽観測とフレア予測](#)  
西塚直人, 久保勇樹, 杉浦孔明, 田光江, 石井守
- 10:50- 休憩・ポスター

【7. 小型 EUVST ミッションと太陽研究の将来展望(S2-II)】 <座長：清水敏文>

- 11:10- [EUVST と地上望遠鏡の共同観測: 彩層ジェットがコロナに及ぼす影響](#) 勝川行雄
- 11:30- [フレア：磁気 RX 研究からの観点](#) 今田晋亮、SolarC WG
- 11:50- [フレア：粒子加速研究からの観点](#) 渡邊恭子
- 12:10- [分光観測で迫るフレアトリガメカニズム](#) 伴場由美、今田晋亮、草野完也
- 12:30- 昼食・ポスター

【7. 小型 EUVST ミッションと太陽研究の将来展望(S2-II)・つづき】 <座長：今田晋亮>

- 13:30- [EUVST 時代のコロナ磁場モデリングと系の不安定性評価](#) 井上 諭
- 13:50- [太陽 X 線撮像分光観測プロジェクト：磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指して  
\(衛星計画 PhoENiX とロケット実験 FOXSI-3\)](#)  
成影典之、PhoENiX チーム、FOXSI チーム
- 14:10- [EUVST と 2025 年頃の飛翔体観測機器とのシナジー](#) 久保雅仁
- 14:30- [EUVST 観測と地上観測の連携](#) 阿南徹
- 14:50- 休憩・ポスター

【7. 小型 EUVST ミッションと太陽研究の将来展望(S2-II)・つづき】 <座長：一本潔>

- 15:05- [ALMA との連携\(EUVST が上がった時に何ができそうか\)](#) 下条圭美
- 15:20- [海外大型望遠鏡計画への参加について](#) 末松芳法
- 15:35- [国内地上望遠鏡の将来](#) 浅井歩
- 15:50- 太陽地球惑星系科学 (STP) の探査ロードマップについて 三好由純

16:05- [全体議論](#)<座長：横山央明>

17:05 閉会あいさつ・終了

### ●ポスター

※ 会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。

ポスターサイズは縦 180 cm× 横 90 cm です。

- [1] [ヘリウム・イメージング・ポラリメータの開発状況](#) 萩野正興、他
- [2] [太陽フレア望遠鏡搭載 InGaAs 近赤外カメラピクセル毎非線形感度補正とその高速化](#) 森田 諭、他
- [3] 飛騨天文台 SMART 狭帯域チューナブルフィルター(TF-1/8)開発進捗状況 木村剛一、他
- [4] [SMART T4 による NOAA12673 の観測と偏光キャリブレーション](#) 永田伸一、他
- [5] [Phase diversity 法による太陽像の改善](#) 鈴木貴博、他
- [6] [太陽シンチレーション観測の妥当性検証及びシーイングの定量化](#) 野澤恵、他
- [7] [ALMA 単面鏡太陽画像のデコンボリューション](#) 岩井一正、他
- [8] [ひので衛星といっしょに太陽を観測しよう～この 8 年の総括～](#) 矢治健太郎
- [9] [Hinode/XRT を用いた活動領域マイクロフレアの統計解析](#) 上村亮弥、他
- [10] 太陽観測衛星「ひので」を用いた光球磁束管の統計的研究 二宮翔太、他
- [11] [One-dimensional MHD simulations of Alfvén wave originated solar atmosphere heating model with realistic radiative cooling](#) Yikang Wang, Takaaki Yokoyama
- [12] [モード変換による高周波スピキュール振動の生成](#) 庄田宗人、他
- [13] プロミネンスへの運動量凝縮と噴出メカニズムへの影響 金子岳史、他
- [14] [白色光フレア・CME の発生条件と太陽フレア放射の関係](#) 渡邊恭子、他
- [15] [太陽フレア EUV 放射スペクトル予測モデルの構築](#) 西本将平、他
- [16] [赤外 Ca II 線の同時観測によるフレアカーネルでの直線偏光起源の調査](#) 川手朋子、他
- [17] [太陽フレアのエネルギー解放領域における熱的・非熱的電子数診断](#) 川手朋子、他
- [18] [異なる初期条件を用いた非線形フォースフリー磁場外挿による活動領域の 3 次元磁場解析](#) 川畑佑典、他
- [19] [先行後行黒点非対称性の極磁場形成への影響](#) 飯島陽久、他
- [20] 天保年間における太陽黒点観測データのコンテンツ化 大辻賢一
- [21] [Determination of the wave property in the quiescent prominence](#) 町田亜希

### ○共同主催

太陽研究者連絡会・名古屋大学宇宙地球環境研究所・国立天文台・JAXA 宇宙科学研究所・  
京都大学大学院理学研究科附属天文台

※本シンポジウムは名古屋大学 ISEE 平成 29 年度研究集会として開催されました。

○世話人

一本潔[開催地担当, 代表]、浅井歩、永田伸一(京大)、横山央明(東大)、原弘久、花岡庸一郎、  
下条圭美(国立天文台)、清水敏文(JAXA 宇宙研)、増田智、今田晋亮(名大)